

「公立保育所のあり方」に関する アンケート調査結果

令和5年7月

目 次

「公立保育所のあり方」に関するアンケート調査結果

1	調査概要-----	1
(1)	目的-----	1
(2)	調査概要-----	1
(3)	回答結果-----	1
2	集計結果-----	2
1	回答者（保護者）について-----	2
2	回答者（担任保育士）について-----	5
3	回答者（未就園児保護者）について-----	7
4	今後の公立保育所の定員及び施設数について-----	9
5	今後の公立保育所の役割について-----	13
6	公立保育所の役割として求めることや期待すること（自由意見）-----	16
	[参考資料] -----	19
	・ アンケート調査配布チラシ（保護者）-----	20
	・ アンケート調査配布チラシ（担任保育士）-----	22
	・ アンケート調査配布チラシ（未就園児保護者）-----	24
	・ アンケート調査票-----	26
	・ 公立保育所の役割として求めることや期待すること（フリーアンサー集）-----	32

「公立保育所のあり方」に関するアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 目的

日高市において公立保育所のあり方の基本方針を策定するにあたり、現状や当事者の声を把握し計画に反映させるため、保護者や保育従事者に対してアンケート調査を実施した。

(2) 調査概要

① 調査内容

- ・出生数の減少や就学前児童数の減少に伴う公立保育所の方向性に関する考えについて
- ・今後の公立保育所の役割に関する考え方について
- ・公立保育所の役割として、求めることや期待することについて

② 調査対象者

ア 保護者

市内の公立保育所、民間保育園、認定こども園（保育部分）、地域型保育事業所へ通園する市内在住の児童の保護者

イ 保育従事者

市内公立保育所、民間保育園、認定こども園、地域型保育事業所の担任の保育士

ウ 未就園児の保護者

市内在住の未就園児の保護者

③ 実施方法

日高市電子申請・届け出サービスを利用した無記名のオンライン形式のアンケートを実施。

ア、イについては、各保育施設を通じて案内チラシを配布。

ウについては、日高市子育て総合支援センター「ぬくぬく」、地域子育て支援センター「おひさま」を利用する未就園児の保護者及び3歳児健診を受けた児童の保護者に対し案内チラシを配布

④ 調査期間

ア、イ 令和5年1月18日（水）～1月31日（火）

ウ 令和5年2月7日（火）～3月27日（月）

(3) 回答結果

項目	ア 保護者	イ 保育従事者
対象数	703 世帯	171 人
回答数	226 世帯 (32.9%)	94 人 (55.0%)
公立保育所	70 世帯 /163 世帯 (42.9%)	32 人 /39 人 (82.1%)
民間保育園	111 世帯 /385 世帯 (28.8%)	37 人 /80 人 (46.3%)
認定こども園	42 世帯 /133 世帯 (31.6%)	14 人 /40 人 (35.0%)
地域型保育事業所	3 世帯 / 22 世帯 (13.6%)	9 人 /12 人 (75.0%)

※対象数については、各園からの報告を受けた保護者の配布数及び調査日時点の担任保育士数を設定した。

※保育従事者回答数 94 人のうち 2 人については対象施設不明のため施設ごとの集計からは除く。

ウ 未就園児の保護者

回答数 6 人（チラシ 231 枚配布）

2 集計結果

1 回答者（保護者）について

1 居住地

回答者の居住地は、高麗川地区と高萩地区が多い。回答率は、地区別の就学前児童数の構成割合と近い数字になっている。

	回答数(世帯)	回答率(%)
1 高麗地区	22	9.73
2 高麗川地区	75	33.19
3 高萩地区	65	28.76
4 高根地区	22	9.73
5 高萩北地区	23	10.18
6 武蔵台地区	19	8.41
総計	226	100.00



【参考】令和4年4月1日現在の就学前児童数と構成割合 (人)

高麗	高麗川	高萩	高根	高萩北	武蔵台	合計
127	638	423	124	332	155	1799
7.1	35.5	23.5	6.9	18.5	8.6	100.0

2 通園している施設及びクラス

公立保育所と民間保育園からの回答が多く、公立保育所と民間保育園で80%となっている。

(人)

	公立保育所	民間保育園	認定こども園	地域型保育	総計
0歳児クラス	0	10	6	0	16
1歳児クラス	7	15	4	1	27
2歳児クラス	12	10	4	2	28
3歳児クラス	15	20	6	0	41
4歳児クラス	17	30	13	0	60
5歳児クラス	19	26	9	0	54
総計	70	111	42	3	226
回答率	31.0	49.1	18.6	1.3	100.0

3 子どもについて

回答いただいた保護者の子どもの数は、「1人」と「2人」がほぼ同数である。

また、子どもの数が2人以上いる家庭のうち、就学前児童が複数いる家庭をみると、教育・保育の対象となる就学前児童が複数いる家庭が約5割を超えている。

■子どもの数

	回答数(人)	回答率(%)
1人	89	39.38
2人	86	38.05
3人	39	17.26
4人	9	3.98
5人	2	0.88
6人	1	0.44
総計	226	100.00

■子どもの数2人以上の就学前児童の数

	回答数(人)	回答率(%)
1人	65	47.45
2人	63	45.99
3人	9	6.57
総計	137	100.00

4 通勤方法と通園時間

各園への通園方法は、「3 自動車」が最も多く、91.59%となっている。また、通園時間をみると、20分までにほとんどの保護者が通園していることが分かる。

通園距離については、3,000mを超える家庭は20.80%となっているものの、2,000mまでに約6割が通園している状況にあり、地理的な偏りが解消されているものと考えられる。

■通園方法

	通園方法（通常時）		通園方法（雨天時）	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
1 徒歩	7	3.10	7	3.10
2 自転車	10	4.42	8	3.54
3 自動車	207	91.59	210	92.92
4 その他	2	0.88	1	0.44
総計	226	100.00	226	100.00

■通園時間

～5分	～10分	～15分	～20分	～25分	～30分	30分超	総計	平均時間
105	90	22	8	0	1	0	226	8.1分
46.46	39.82	9.73	3.54	0.00	0.44	0.00	100.00	

■通園距離

～500m	～1,000m	～1,500m	～2,000m	～2,500m	～3,000m	3,000m超	総計	平均距離
23	48	28	34	15	31	47	226	2,278m
10.18	21.24	12.39	15.04	6.64	13.72	20.80	100.00	

5 保育所を選ぶときに重視した点（あてはまるもの3つまで）

保育所を選ぶときに重視した点について、「1 自宅に近いから」が最も多く、3番目が「3 通勤に便利な場所にあるから」となっていることから、保育所を選ぶ際に、保護者が自宅や職場からの距離を重視する傾向にあるものと考えられる。

公立保育所保護者の回答としては、「19 公立保育所だから」を理由に保育所を選んでいることが多いのが特徴といえる。また、「16 施設や設備が充実しているから」を選んだ保護者はいなかった。

民間保育園等保護者の回答としては、「17 園全体の雰囲気がよいから」、「14 保育の内容がよいから」、「13 保育の方針がよいから」を選んだ割合が公立保育所と比較して多いことが特徴であり、園の保育方針や法人の理念などを考慮して施設を希望する傾向にあると考えられる。

（件）

保育所を選ぶときに重視した点	公立保育所	民間保育園等	総計
1 自宅から近いから	48	98	146
5 入学する小学校区にあるから	17	33	50
3 通勤に便利な場所になるから	17	30	47
17 園全体の雰囲気がよいから	10	36	46
7 兄弟姉妹が通っている(た)ため	14	25	39
2 保護者の職場に近いから	15	17	32
14 保育の内容がよいから	3	25	28
11 開園時間が長いから	5	21	26
10 低年齢から入園できたから	3	22	25
13 保育の方針がよいから	2	21	23
15 信頼できる職員がいそうだから	2	19	21
19 公立保育所だから	17	3	20
6 保育所周辺の環境がよいから	9	4	13
8 祖父母や保護者が通っていたから	2	10	12
4 祖父母の家に近いから	6	4	10
21 その他	2	8	10
16 施設や設備が充実しているから	0	9	9
12 周りの評判がよいから	0	6	6
18 支援児への対応があるから	4	1	5
20 私立保育園だから	0	4	4
9 近所の子や友達が通っているから	1	1	2

■21 その他の主な内容

- ・土曜日1日保育をやっているから、土曜保育の時間が長いから
- ・定員に空きがあったから、受け入れ可能な園ここだけだったから
- ・保育園と幼稚園が利用できたから
- ・認定こども園のため仕事形態が変わっても通い続けることができるから
- ・少人数だから
- ・先生と子供たちの雰囲気（空気感）と保育方針などに共感したから
- ・駐車場が安全に配慮されていて安心だから、駐車場が広いから

2 回答者（担任保育士）について

1 性別と年齢

回答いただいた担任保育士は、男性 5 人、女性 86 人、不明 3 人で合計 94 人となっている。

年齢は、40 代が最も多い。公立保育所と民間保育園等を比較すると、公立保育所で幅広い年代からの回答が得られた。

(人)

	公立保育所	民間保育園	認定こども園	地域型保育事業所	不明	総 計
1 19歳以下	0	0	0	0	0	0
2 20～29歳	1	14	2	0	2	19
3 30～39歳	6	8	2	2	0	18
4 40～49歳	14	11	9	4	0	38
5 50～59歳	6	2	1	1	0	10
6 60歳以上	5	2	0	2	0	9
総 計	32	37	14	9	2	94

2 勤続年数

現在の法人での勤続年数については、公立保育所は民間保育園等と比較して長く、特に 20 年以上の勤続年数が多い割合となっている。

これまでの保育士としての通算勤続年数をみると、公立保育所では幅広い年代で回答を得たが、民間保育園等では、約 8 割が 20 年未満となっている。

■現在の法人での勤続年数

	公立保育所		民間保育園等		総 計	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
1 5年未満	8	25.00	24	40.00	32	34.78
2 5～9年	9	28.13	17	28.33	26	28.26
3 10～14年	5	15.63	14	23.33	19	20.65
4 15～19年	5	15.63	4	6.67	9	9.78
5 20～24年	5	15.63	0	0.00	5	5.43
6 25～29年	0	0.00	0	0.00	0	0.00
7 30～34年	0	0.00	0	0.00	0	0.00
8 35年以上	0	0.00	1	1.67	1	1.09
総 計	32	100.00	60	100.00	92	100.00

■保育士としての通算勤続年数

	公立保育所		民間保育園等		総 計	
	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)	回答数(人)	回答率(%)
1 5年未満	3	9.38	16	26.67	19	20.65
2 5～9年	1	3.13	9	15.00	10	10.87
3 10～14年	5	15.63	12	20.00	17	18.48
4 15～19年	9	28.13	10	16.67	19	20.65
5 20～24年	9	28.13	10	16.67	19	20.65
6 25～29年	2	6.25	2	3.33	4	4.35
7 30～34年	2	6.25	0	0.00	2	2.17
8 35年以上	1	3.13	1	1.67	2	2.17
総 計	32	100.00	60	100.00	92	100.00

3 保育士として研修等を通じてどのような知識や技術を習得したいか（あてはまるものすべて）

保育士として必要と考える研修については、全体では「1 乳幼児保育・保育実技」「2 障がい児保育」にすることが最も多い。

	公立保育所	民間保育園	認定こども園	地域型保育事業所	総 計
1 乳幼児保育・保育実技	20	29	9	6	64
2 障がい児保育	28	23	11	2	64
8 保護者への対応の仕方	22	26	13	2	63
4 心と体の発達	19	24	9	5	57
3 食育に関すること	19	20	9	1	49
5 病気予防・救急救命	15	22	9	1	47
7 安全管理・衛生管理	18	17	9	3	47
9 パソコン等の操作方法	14	11	5	6	36
6 地域との関わり方	6	10	4	3	23
10 その他	1	0	0	0	1

3 回答者（未就園児保護者）について

1 居住地

アンケートを多く配布した場所が子育て総合支援センター(総合福祉センター高麗の郷内)であったため、高麗地区と高麗川地区の保護者から回答があった。

	回答数(世帯)
1 高麗地区	2
2 高麗川地区	2
3 高萩地区	1
4 高根地区	0
5 高萩北地区	1
6 武蔵台地区	0
総計	6

2 通園を希望する幼稚園・保育所等

現時点では、まだ通園する園などを決めていない方もいた。

公立保育所	民間保育園	認定こども園	地域型保育	幼稚園	未定	総計
1	0	1	0	2	2	6

3 子どもについて

回答いただいた保護者の子どもの数は、「1人」が多かったが、未就園児が3人いる世帯もあった。

	回答数(人)
1人	4
2人	1
3人	1
総計	6

4 保育所等を選ぶときに重視する点（あてはまるもの3つまで）

保育所を選ぶときに重視した点について、「1 自宅に近いから」が最も多く、次に「13 教育・保育の方針がよいから」と「17 園全体の雰囲気がよいから」が多かった。

(件)

保育所等を選ぶときに重視する点	総計
1 自宅から近いから	4
13 保育・教育の方針がよいから	2
17 園全体の雰囲気がよいから	2
3 通勤に便利な場所になるから	1
5 入学する小学校区にあるから	1
8 祖父母や保護者が通っていたから	1
12 周りの評判がよいから	1
14 教育・保育の内容がよいから	1
21 幼稚園だから	1

4 今後の公立保育所の定員及び施設数について

1 公立保育所の定員の見直しや施設数について

設問：今後も引き続き安定して保育を提供していくためには、市全体の保育定員を調整するため、公立保育所の定員の見直しや施設数に関して統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。このことについてどのように考えますか。（最もあてはまるもの1つを選択）

上記の設問に対し、保護者の回答では、「1 そうすることが必要である」、「2 どちらかというところが必要である」と回答した割合は、73.0%となっており、「3 どちらかというところとする必要はない」、「4 そうする必要はない」の8.8%と比較して、高い割合となっており、定員の見直しや統廃合などを含めた検討が必要と考える人が多いと考えられる。また、公立保育所をみても、「1 そうすることが必要である」、「2 どちらかというところが必要である」と回答した割合は、74.3%と全体の回答とほぼ同じ割合となっている。

（回答数：件、回答率：％）

【保護者】	項目	全体		内公立保育所		内民間保育施設等	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
	1 そうすることが必要である	71	31.4	14	20.0	57	36.5
	2 どちらかというところが必要である	94	41.6	38	54.3	56	35.9
	3 どちらかというところとする必要はない	12	5.3	3	4.3	9	5.8
	4 そうする必要はない	8	3.5	1	1.4	7	4.5
	5 どちらともいえない、わからない	41	18.1	14	20.0	27	17.3
	合計	226	100.0	70	100.0	156	100.0

担任保育士の回答では、「1 そうすることが必要である」、「2 どちらかというところが必要である」と回答した割合は、79.4%となっている。公立保育所の担任保育士の割合をみても、保護者の回答とほぼ同様の傾向となっている。

（回答数：件、回答率：％）

【担任保育士】	項目	全体		内公立保育所		内民間保育施設等	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
	1 そうすることが必要である	31	33.7	7	21.9	24	40.0
	2 どちらかというところが必要である	42	45.7	19	59.4	23	38.3
	3 どちらかというところとする必要はない	7	7.6	4	12.5	3	5.0
	4 そうする必要はない	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	5 どちらともいえない、わからない	12	13.0	2	6.3	10	16.7
	合計	92	100.0	32	100.0	60	100.0

未就園児保護者の回答では、「1 そうすることが必要である」「2 どちらかというところが必要である」と回答した方が多かった。

（回答数：件）

【未就園児保護者】	項目	全体
		回答数
	1 そうすることが必要である	2
	2 どちらかというところが必要である	2
	3 どちらかというところとする必要はない	0
	4 そうする必要はない	2
	5 どちらともいえない、わからない	0
	合計	6

2 統廃合や複合化などについて、メリットや期待すること、デメリットや不安なこと

(1) メリットや期待すること（あてはまるものすべて）

保護者の回答では、「1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気がでてくる」と「3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる」と回答した割合が高かった。回答者 226 人のうち約8割が選択していることから統廃合などによるメリットとして期待されているものと考えられる。

（回答数：件、回答率：％）

【保護者】	全体		内公立保育所		内民間保育施設等	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気がでてくる	123	31.9	38	33.0	85	31.5
2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる	108	28.1	34	29.6	74	27.4
3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる	120	31.2	35	30.4	85	31.5
4 なし	18	4.7	5	4.3	13	4.8
5 その他	16	4.2	3	2.6	13	4.8
合計	385	100.0	115	100.0	270	100.0

■「5 その他」の主な内容

- ・施設の新改築ができる、新しい綺麗な保育園ですごさせることができる
- ・保育士の質が向上する
- ・財源と人材を確保し、土曜日を1日保育と公立保育園0歳児保育をしてほしい
- ・保育士の負担軽減につながる
- ・財源確保がされても子育て世代の為に使う財源になるか疑問
- ・保育士の確保、給料を増やして安全安心の保育をして欲しい
- ・職員にけるコスト（給与）の確保も考える必要があるのでは統合は仕方ない

担任保育士の回答では、「2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる」と回答した割合が最も高かった。

（回答数：件、回答率：％）

【担任保育士】	全体		内公立保育所		内民間保育施設等	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気がでてくる	42	27.3	12	26.7	30	27.5
2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる	62	40.3	25	55.6	37	33.9
3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる	40	26.0	6	13.3	34	31.2
4 なし	2	1.3	0	0.0	2	1.8
5 その他	8	5.2	2	4.4	6	5.5
合計	154	100.0	45	100.0	109	100.0

■「5 その他」の主な内容

- ・保育士の配置基準(数)の見直しをするべき、十分な人材を配置して欲しい
- ・各保育所を設備、環境、人員すべてを満たすべきだと思う
- ・保育士の充実などを含めた保育環境の見直しに充当することができる、職員数の増員につながるとよい
- ・仕事で大変な家庭に必要な保育を提供できる

(回答数：件、回答率：%)

【未就園児保護者】		全体	
項目		回答数	回答率
1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気がでてくる		3	25.0
2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる		2	16.7
3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる		4	33.3
4 なし		1	8.3
5 その他		2	16.7
合計		12	100.0

■ 「5 その他」の内容

- ・ 保育士が適切な人数となり、安心して保育園に預けることができる。
- ・ 特色のある私立園を増やせば、日高市に人が住むようになるかもしれない

(2) デメリットや不安なこと（あてはまるものすべて）

保護者をみると、「2 通園する保育所が遠くなる可能性がある」が最も多い。また、「3 通いなれた園に通い続けられるか不安である」、「4 在園途中で環境が変化することが不安である」についても、回答数が多く、統廃合などによる不安を感じている。

(回答数：件、回答率：%)

【保護者】	全体		内公立保育所		内民間保育施設等	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 地域の保育の質が確保されるか不安である	76	15.8	27	16.9	49	15.2
2 通園する保育所が遠くなる可能性がある	140	29.0	48	30.0	92	28.6
3 通いなれた園に通い続けられるか不安である	111	23.0	34	21.3	77	23.9
4 在園途中で環境が変化することが不安である	111	23.0	38	23.8	73	22.7
5 なし	26	5.4	7	4.4	19	5.9
6 その他	18	3.7	6	3.8	12	3.7
合計	482	100.0	160	100.0	322	100.0

■ 「6 その他」の主な内容

- ・ 自転車や徒歩での送迎しかできない方が不便になる
- ・ 先生が変わることにより不安になる子どもがいるのではないか
- ・ 転入等で児童数が増えた時に待機児童が生じるのではないか
- ・ 統合や保育方針の変更により保育の質の低下が発生する可能性がある
- ・ メリットなし

担任保育士をみると、「4 在園途中に環境が変化することが不安である」が最も多く、環境の変化が園児や保護者にとって大きな影響と捉えているものと考えられる。

(回答数：件、回答率：%)

【担任保育士】	全体		内公立保育所		内民間保育施設等	
	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1 地域の保育の質が確保されるか不安である	39	20.9	13	22.0	26	8.1
2 通園する保育所が遠くなる可能性がある	52	27.8	21	35.6	31	9.6
3 通いなれた園に通い続けられるか不安である	34	18.2	9	15.3	25	7.8
4 在園途中に環境が変化することが不安である	53	28.3	12	20.3	41	12.7
5 なし	2	1.1	0	0.0	2	0.6
6 その他	7	3.7	4	6.8	3	0.9
合計	187	100.0	59	100.0	128	39.8

■ 「5 その他」の主な内容

- ・ 待機児童が生じるのではないか
- ・ 人間関係（職員、子ども）が変化する
- ・ 費用負担（実費徴収など）が増える可能性がある
- ・ 必要とされる保育士の人数が減っていく事に不安を感じる
- ・ 少人数の保育が適している子どももいる

未就園児保護者をみると、「4 在園途中に環境が変化することが不安である」が最も多く、環境の変化が園児や保護者にとって大きな影響と捉えているものと考えられる。

(回答数：件、回答率：%)

【未就園児保護者】	全体	
	回答数	回答率
1 地域の保育の質が確保されるか不安である	3	21.4
2 通園する保育所が遠くなる可能性がある	3	21.4
3 通いなれた園に通い続けられるか不安である	2	14.3
4 在園途中に環境が変化することが不安である	4	28.6
5 なし	1	7.1
6 その他	1	7.1
合計	14	100.0

■ 「5 その他」の内容

- ・ 預け先の選択肢が減り、保護者の負担が増える

5 今後の公立保育所の定員及び施設数について

1 今後の公立保育所の役割について

設問： 公立保育所や、行政機関の一部として、安定的な保育を行うとともに、配慮が必要な家庭や児童に対する保育サービスを提供してきました。

一方、民間保育施設では、それぞれの法人の保育理念に基づき、多様で特色のある独自の保育が実践されてきました。

民間保育施設を含めた今後の市全体の保育環境を見据え、公立、民間での役割を考えるために、公立保育所としてどのような役割が望ましいか、お伺いします。

今後、公立保育所が果たしていく役割として、特に重要だと思うことは何ですか（あてはまるもの3つまでを選択）

特に重要だと思うことという質問において、保護者からの回答をみると、「1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割」と「5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割」の回答数が多かった。

【保護者】

(件)

重要だと思う役割	総計	内公立保育所	内民間保育園等
1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割	99	34	65
5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割	95	20	75
12 障がい児の受入れ体制を拡充していく役割	52	20	32
10 小学校と連携する役割	49	13	36
13 医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	48	18	30
4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割	40	12	28
14 養育困難家庭等の支援が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	29	4	25
11 公的機関と連携する役割	26	6	20
8 長年の経験を生かした保育の継承とスキルアップを促進する役割	25	8	17
3 公開保育講座や育児講座の開催など、地域の保育所としての役割	21	8	13
2 在宅で子育てする保護者への相談、助言を行う役割	20	3	17
15 アレルギー対応が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	18	6	12
6 潜在保育士の復帰を促進させる役割	15	4	11
9 公立保育所と民間保育園との勉強会等を主導する役割	12	5	7
7 保育実習生を積極的に受け入れる役割	10	1	9
16 その他	8	2	6
合計	567	164	403

■16 その他の主な内容 ・助言はいらない ・勉強してから実施してほしい ・病児保育 ・祝日の受入れ ・民間と連携してレベルアップを図ってほしい ・当てはまらない ・わからない

担任保育士をみると、「1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割」、
「12 障がい児の受入れ体制を拡充していく役割」の回答数が多かった。

【担任保育士】

(件)

重要だと思う役割	総計	内公立保育所	内民間保育園等
1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割	40	14	26
12 障がい児の受入れ体制を拡充していく役割	39	9	30
14 養育困難家庭等の支援が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	32	10	22
5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割	21	8	13
10 小学校と連携する役割	20	13	7
13 医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	19	1	18
4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割	18	8	10
11 公的機関と連携する役割	14	11	3
3 公開保育講座や育児講座の開催など、地域の保育所としての役割	9	0	9
8 長年の経験を生かした保育の継承とスキルアップを促進する役割	9	4	5
9 公立保育所と民間保育園との勉強会等を主導する役割	8	3	5
6 潜在保育士の復帰を促進させる役割	7	1	6
2 在宅で子育てする保護者への相談、助言を行う役割	6	0	6
7 保育実習生を積極的に受け入れる役割	3	2	1
15 アレルギー対応が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	3	1	2
16 その他	2	0	2
合計	250	85	165

■16 その他の主な内容 ・土曜日の一日保育 ・0歳児の受入れ

未就園児保護者をみると、「5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割」、「4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割」の回答数が多かった。

【未就園児保護者】 (件)	
重要だと思う役割	総計
5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割	4
4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割	3
1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割	2
3 公開保育講座や育児講座の開催など、地域の保育所としての役割	2
13 医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割	2
8 長年の経験を生かした保育の継承とスキルアップを促進する役割	1
9 公立保育所と民間保育園との勉強会等を主導する役割	1
10 小学校と連携する役割	1
16 その他	1
合計	17

■16 その他の内容

- ・一時保育を充実させ、安心して子供を預けられる場所という役割

6 公立保育所の役割として求めることや期待することについて

「4 今後の公立保育所の役割について」で回答いただいた内容のほか、公立保育所に求められる役割として、求めることや期待することについて、自由記述により回答いただいた。

今後の公立保育所の役割に関連する主な記述内容を取りまとめて掲載する。なお、このほかの意見については、参考資料でフリーアンサー集として掲載する。

■回答者

	公立保育所		民間保育園等	
①保護者	21 人/70 人	(30.0%)	45 人/156 人	(28.8%)
②保育従事者	8 人/30 人	(26.7%)	21 人/62 人	(33.9%)

①公立保育所保護者の意見

主なご意見（一部抜粋・要約）
・ 公立保育所の役割として、気になる子や障がい児を受け入れてくれるのもとても大きいと思います。これは、他の子どもにとっても良い影響があると思います。
・ 何らかの障害やフォローが必要であったり、医療ケアを必要とする乳幼児が市内に全くいないとは限りません。その視点から現在も対応されているかとは存じますが、公立でも常時受入対応可能なスタッフの配置を推進していただきたいです。（緊急・災害時含む）
・ 保育ニーズの多様化が増え行政やその他連絡機関などとも連携が取りやすいのではないかと。（医療的ケア児や発達障がい児などの受け入れに必要な周りとの連携など）インクルーシブ教育に1番近いのではないかと。
・ 早朝保育の延長（7時から）公開保育、行事等への参加人数の柔軟化

②民間保育園等保護者の意見

主なご意見（一部抜粋・要約）
・ 日高市は遊具のある公園が少ないので、親同伴で園庭を開放してくれるととても嬉しいです。
・ 利益を考えずに子どもたちや保護者が必要としている保育、支援をできる場であってほしいです。
・ 障害児への対応の充実。
・ 子育て仕事の両立や在宅で育児に悩む親たちのちょっとした事も話せる場所であって欲しいです。コロナもありご近所や周りの方々とコミュニティが狭まり、一人で全てを抱えている母親、父親も多いと思います。親が息抜き出来れば子ども達に対して心からの愛情を注ぐ事が出来ると思います。
・ 保育所を統合して保育士の人数を増やし、保育士が余裕を持って保育をすることで、もっと子どもたちに愛情をもって接することができる。保育所の保育士はベテランの先生が多く、新しい先生があまりいない印象なので、若い力を取り入れて常に変化していくことも大事ではないかと。
・ 障がいをお持ちのお子さん（発達障害なども含めて）は療育などに通われたりするようですが、そう言ったハンデをお持ちの親御さんが安心して働ける環境をサポートするとか、働く親や両親などのサポートが得られない方や、一時保育を利用できる保育所（保育園）の拡充、病児保育など、働きながら子育てする親や育児に行き詰ってしまった方へのサポートが市全体でできたら良いと思います。
・ 日曜、祝日の保育。土曜保育時間の延長。
・ 公立保育園に1人看護師配置。 病児保育、不定型発達児保育など、保育士の学ぶ知識では個人の差が大きく出る。専門知識のある看護師を各1人配置すると良いと思う。
・ 障がい児の受入れ体制を充実していく役割、医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割、養育困難家庭等の支援が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割、アレルギー対応が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割、は必要だと思います。

・ 行政の支援が届きにくい家庭への支援を、積極的に行ってもらいたい。 保育園の数が減るということは、送迎の手段が少ない（車がないなど）経済的に厳しい家庭への負担が増えるということなので、考慮してもらえるといいと思う。 障害や病気を抱えている子が安心して通える保育所などを作っていただき、支援の場があるということも、周知してもらいたい。
・ 民間に出来ること以外をカバーする公立ならではの保育機能
・ 時代の流れに合った保育士等、職員の教育
・ 自分の子が養育困難な子どもだったら、きっと助けてくれる場所が欲しいです。 人手が必要だから、経費もかかる保育になるとし、民間は利益を無視できないだろうから、そう言った面で行政にやってもらえたらと思います。
・ 公立保育所の役割が今時点であまり理解できていないので、そこもしっかりとした資料がほしい。 保育所に預ける人は仕事をしてる人やその他事情がある人だと思うので統廃合という事が預ける人達にメリットとなるとはあまり思わないです。
・ 公立保育園に求めていることはない 考え方や優遇が聞かないので今の時代にあっていないと思う

③公立保育所担任の意見

主なご意見（一部抜粋・要約）
・ 安心安全を全面に押し出し、多くを求めず、とにかく保護者に「安心して我が子を預けられる場所」と思ってもらえるようにするのが一番だと思います。
・ 少子化が進むなか、統廃合もやむ得ないかと思えます。しかし、現場にいるものとして現実を見た場合20年前から比べると個性のある子どもが多くなり人数のわりに個別対応を必要としています。 四角四面で見るのではなく行政だから出来る支援をお願いしたい。
・ 障がいや特性が多様化しています。また保護者も多様化している中で、日々対応など悩むことは多いのですが、公立保育所では職員の年齢層が幅広く、それぞれの層の良さが発揮されると思います。 正規職員も会計年度任用職員もさまざまな年齢層の中で意見を出し合い対応を考えていくことができると思えます。ベテランの先生方の知恵や経験も宝物だと思います。
・ 保護者は安全に子どもを預けられるのが一番良い。 看護師、保健師の常駐を希望。（保健室のような） 障がい児やアレルギー児、0歳児保育のことを考えると、いつでも（リアルタイムに）相談したりみてもらえるような環境にあると、保護者も保育士も安心して子どもを預かれると感じる。

④民間保育園等担任の意見

主なご意見（一部抜粋・要約）
・ 私立ではなかなかできないことをして頂きたいです
・ 支援センターや一時預かり保育など行うなど
・ 保育実習生の受け入れ
・ 市内保育園の交流、意見交換できる機会を作って頂き、先導して頂けたらと思います。各園、特色や考えはあると思いますが、緊急時や病气、今回のコロナ対応など、国の基準下の中でも園ごとに判断が様々だと感じています。意見交換して、各園ごとにあまり差がない対応ができれば地域の保護者の負担を減らしていけると思えます。
・ 統廃合により場所や環境が変わることがあると思いますが、保育の質を高め、安心して預けられる状況であってほしいと思います。養育が必要な子どもが増えてきているので、そこにも手厚く受け入れてもらえたらいいと思います。
・ 障がい児が増えてきているので、民間の保育園では障がい児への対応が十分に出来ていないと思います。その為、公立の保育園が体制を整えて受け入れてもらえると助かります。
・ 私立保育園では保育士の人数が不足していて、園にいる障がい児やグレーゾーンの子への対応にしっかり時間をとってあげることが難しいので、公立保育所でしっかりと関わり、その子に合った対応、保育をする役割を担っていただけたらと思います。
・ 公立保育所と民間保育施設での情報の交換の場や、勉強会が定期的に行われたら市内の保育者の質の向上に繋がるのではないかと考えます。
・ 私立は特色があり、園の方針が様々だと思う。その方針が合わない子も出てくるのではないかと心配もある。公立があれば選択肢も広がるし、市との連携がしやすい場だと思うのでそれを生かして欲しいと思う。

- ・近年子供の数は減少していると聞いていますが、発達障がいと診断される子の人数は増えているように思います。どの子にも平等な保育をしていくことが理想ですが、保育する側の立場からの意見として、発達障がいの子も療育を受けて良い方に少しずつ成長が見られ、クラス運営で困ることが少しずつ減ったり、保護者の障がいに対する理解や対応に変化があって家庭でも状況が少しずつ改善されたり…という事があるように感じています。しかし、療育の予約がなかなか取れないとの話も聞かれます。療育に携わることが出来る人材の育成や、空き教室を療育や障がい児の子が保育園と併用して安心して通える場所として使っていただけるとありがたいと個人的に思います。
- ・土曜日、祝日の一日保育をする。(延長保育を含む)
全公立保育所が、0歳児クラスの運営をする。
問題のある家庭や、発達支援が必要な児童は、公立が担うべき。
時代に合ったサービスの提供。(オムツの持ち帰りや、主食持参などは止めるべき)

④未就園児保護者の意見

主なご意見（一部抜粋・要約）

- ・もっと一時保育を誰でも利用できるようにしてください。子供を抱え、虐待の一手手前でなんとか踏みとどまりながら泣いている母親もいます。そういう保護者のサポートこそ、公立保育所にしていただきたいです。
また、日高市は0歳児保育の定員が少なく、市内の地域によりバラつきがあると思います。民間はともかく、せめて公立保育所は0歳児預かりをしてください。そこから始めないと、0歳児の一時保育も難しいはずです。助けを求める親子の駆け込み寺、それも公立保育所の役割ではないでしょうか。

【参考資料】

「公立保育所のあり方」に関するアンケート調査

ーアンケート調査の趣旨ー

日高市では、民間保育施設の協力により、平成27年度以降「待機児童数ゼロ」が続いており、保育ニーズに対する施設不足は解消している状況となっています。

一方、全国的に少子化が進み、日高市でも0歳から5歳までの小学校入学前の児童数が更に減少していくと予測されていますので、今後は保育施設の定員数が満たされず、民間保育施設を含めた市全体の保育環境の維持に支障が出るのが心配されます。

また、市内の公立保育所では、建築後40年以上経過している施設もあり、設備などの老朽化が進んでいます。

今後は、児童数の推移を考慮しながら、公立保育所の役割を明らかにした上で、市全体の保育環境をどのように維持・向上させていくかが課題となります。

このような状況から、今後の「公立保育所のあり方」について、以下の点などを示す必要があると考えています。

- ① 公立保育所の役割を明確にしていくこと
- ② 公立保育所の統廃合等により、市全体の定員数を調整すること

これらを進めるにあたり、保育施設を利用する皆様のご意見を伺うため、アンケートを行うものです。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年1月 日高市福祉子ども部子育て応援課

■調査について

○本調査は、市内保育施設に通う市内在住のお子様を持つ保護者の皆様を対象としています。

○調査は無記名です。また、調査結果は、統計的にのみ使用することとし、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはありません。

○対象となるお子様が複数いらっしゃる場合は、年齢が高いお子様のクラスで

1回のみご回答いただきますようお願いいたします。※兄弟姉妹で異なる保育園に通園する場合も1回のみご回答ください。

○回答は、以下の方法により、令和5年1月31日(火)までにお願いします。

○アクセス環境がない方は紙での回答も可能です。お手数ですが以下の問い合わせ先までご連絡ください。

■アンケート調査の回答方法

①以下のURLか、二次元コードからアクセスしてご回答ください。

URL:https://s-kantan.jp/city-hidaka-saitama-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=46820

②「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックし、利用規約に同意する。

③裏面の資料をご覧くださいながら、アンケートにご回答ください。

※回答の際に本チラシの左下の数字を入力する箇所があります。

④回答が終了したら「確認へ進む」ボタンを押してください。確認終了後「申込む」ボタンを押して終了です。

→【000】

【問い合わせ先】 日高市福祉子ども部子育て応援課保育担当
電話 042-989-2111(代表)

アンケート回答サイト



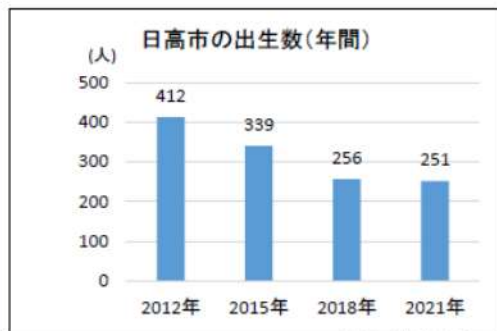
ー裏面有ー

資料：公立保育所のあり方について

◎今後の公立保育所の定員及び施設数について

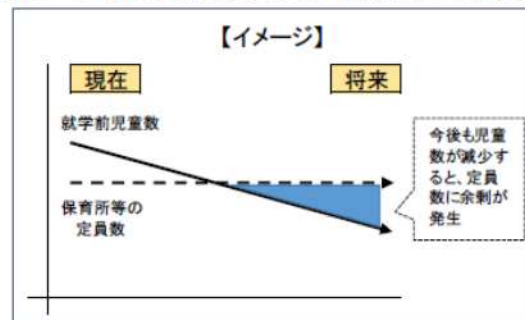
○現状

- ・民間保育園等の協力により、待機児童は解消されてきました【2015(H27)年度以降ゼロ】。
- ・ここ数年は出生数が減少しています。これにより0～5歳の小学校入学前児童数も減少しています。また、今後も児童数の減少が見込まれます。
- ・市内公立保育所では、築40年を経過している施設もあり、設備などの老朽化が進んでいます。



○課題

- ①今後も0～5歳の小学校就学前児童数が減少することで、定員数に大幅な余剰が生じることが予測されます。市全体で適切な定員設定とする必要があります。
- ②厳しい財政状況の中、公立保育所の老朽化に対応していくため、施設の統廃合等を検討していく必要があります。
- ③多様化していく保育ニーズに対応するため、公立保育所と民間保育園等との役割を明確化し、保育の質の確保に向けて連携した取り組みを行う必要があります。
- ④近年、特別な配慮を必要とするケースが増加しています。公的機関との連携を強化し、専門的な対応が必要となる保育ニーズ等に柔軟に対応していく必要があります。



■今後の方向性

今後も安心な保育を提供していくためには、公立保育所の役割を明らかにした上で、公立保育所の統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。



アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします



「公立保育所のあり方」に関するアンケート調査（担任保育士）

ーアンケート調査の趣旨ー

日高市では、民間保育施設の協力により、平成27年度以降「待機児童数ゼロ」が続いており、保育ニーズに対する施設不足は解消している状況となっています。

一方、全国的に少子化が進み、日高市でも0歳から5歳までの小学校入学前の児童数が更に減少していくと予測されていますので、今後は保育施設の定員数が満たされず、民間保育施設を含めた市全体の保育環境の維持に支障が出るのが心配されます。

また、市内の公立保育所では、建築後40年以上経過している施設もあり、設備などの老朽化が進んでいます。

今後は、児童数の推移を考慮しながら、公立保育所の役割を明らかにした上で、市全体の保育環境をどのように維持・向上させていくかが課題となります。

このような状況から、今後の「公立保育所のあり方」について、以下の点などを示す必要があると考えています。

- ① 公立保育所の役割を明確にしていくこと
- ② 公立保育所の統廃合等により、市全体の定員数を調整すること

これらを進めるにあたり、保育施設を利用する皆様のご意見を伺うため、アンケートを行うものです。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年1月 日高市福祉子ども部子育て応援課

■調査について

○本調査は、市内保育施設の担任の皆様を対象としています。

○調査は無記名です。また、調査結果は、統計的にのみ使用することとし、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはありません。

○クラスの担任の先生が複数いらっしゃる場合は、それぞれがご回答いただきますようお願いいたします。

○回答は、以下の方法により、令和5年1月31日(火)までにお願いします。

○アクセス環境がない方は紙での回答も可能です。お手数ですが以下の問い合わせ先までご連絡ください。

■アンケート調査の回答方法

①以下の URL か、二次元コードからアクセスしてご回答ください。

URL:https://s-kantan.jp/city-hidaka-saitama-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=46818

②「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックし、利用規約に同意する。

アンケート回答サイト

③裏面の資料をご覧くださいながら、アンケートにご回答ください。

④回答が終了したら「確認へ進む」ボタンを押してください。確認終了後「申し込む」ボタンを押して終了です。



【問い合わせ先】 日高市福祉子ども部子育て応援課保育担当
電話 042-989-2111(代表)

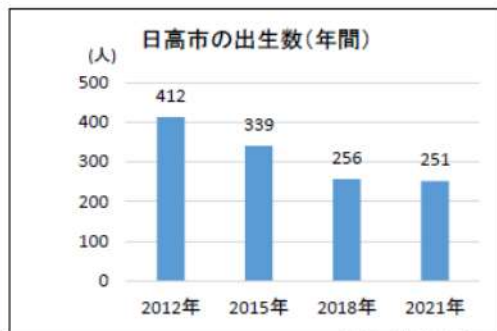
ー裏面有ー

資料：公立保育所のあり方について

◎今後の公立保育所の定員及び施設数について

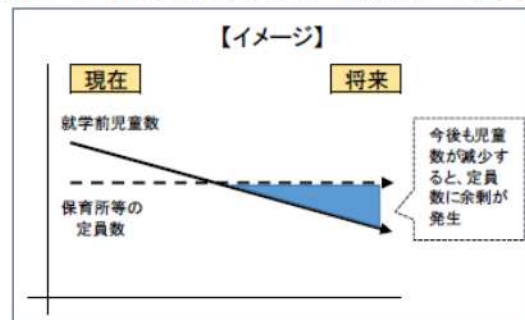
○現状

- ・民間保育園等の協力により、待機児童は解消されてきました【2015(H27)年度以降ゼロ】。
- ・ここ数年は出生数が減少しています。これにより0～5歳の小学校入学前児童数も減少しています。また、今後も児童数の減少が見込まれます。
- ・市内公立保育所では、築40年を経過している施設もあり、設備などの老朽化が進んでいます。



○課題

- ①今後も0～5歳の小学校就学前児童数が減少することで、定員数に大幅な余剰が生じることが予測されます。市全体で適切な定員設定とする必要があります。
- ②厳しい財政状況の中、公立保育所の老朽化に対応していくため、施設の統廃合等を検討していく必要があります。
- ③多様化していく保育ニーズに対応するため、公立保育所と民間保育園等との役割を明確化し、保育の質の確保に向けて連携した取り組みを行う必要があります。
- ④近年、特別な配慮を必要とするケースが増加しています。公的機関との連携を強化し、専門的な対応が必要となる保育ニーズ等に柔軟に対応していく必要があります。



■今後の方向性

今後も安心な保育を提供していくためには、公立保育所の役割を明らかにした上で、公立保育所の統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。



アンケート調査にご協力いただきますようお願いいたします



「公立保育所のあり方」に関するアンケート調査（未就園児）

—アンケート調査の趣旨—

日高市では、民間保育施設の協力により、平成27年度以降「待機児童数ゼロ」が続いており、保育ニーズに対する施設不足は解消している状況となっています。

一方、全国的に少子化が進み、日高市でも0歳から5歳までの小学校入学前の児童数が更に減少していくと予測されていますので、今後は保育施設の定員数が満たされず、民間保育施設を含めた市全体の保育環境の維持に支障が出るのが心配されます。

また、市内の公立保育所では、建築後40年以上経過している施設もあり、設備などの老朽化が進んでいます。

今後は、児童数の推移を考慮しながら、公立保育所の役割を明らかにした上で、市全体の保育環境をどのように維持・向上させていくかが課題となります。

このような状況から、今後の「公立保育所のあり方」について、以下の点などを示す必要があると考えています。

- ① 公立保育所の役割を明確にしていくこと
- ② 公立保育所の統廃合等により、市全体の定員数を調整すること

これらを進めるにあたり、皆様のご意見を伺うため、アンケートを行うものです。
皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

令和5年3月 日高市福祉子ども部子育て応援課

■調査について

○本調査は、市内在住の未就園児を持つ保護者の皆様を対象としています。

○調査は無記名です。また、調査結果は、統計的にのみ使用することとし、個人が特定されたり、他の目的に使用したりすることはございません。

○対象となるお子様が複数いらっしゃる場合は、年齢が高いお子様について

1回のみご回答いただきますようお願いいたします。

○回答は、以下の方法により、令和5年3月27日(月)までにお願いします。

○アクセス環境がない方は紙での回答も可能です。お手数ですが以下の問い合わせ先までご連絡ください。

■アンケート調査の回答方法

①以下の URL か、二次元コードからアクセスしてご回答ください。

(URL:https://s-kantan.jp/city-hidaka-saitama-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=50276)

②「利用者登録せずに申し込む方はこちら」をクリックし、利用規約に同意する。

③裏面の資料をご覧くださいながら、アンケートにご回答ください。

④回答が終了したら「確認へ進む」ボタンを押してください。確認終了後「申込む」ボタンを押して終了です。

アンケート回答サイト



—裏面有—

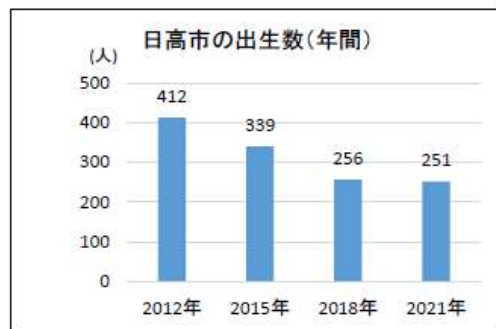
【問い合わせ先】 日高市福祉子ども部子育て応援課保育担当
電話 042-989-2111(代表)

資料：公立保育所のあり方について

◎今後の公立保育所の定員及び施設数について

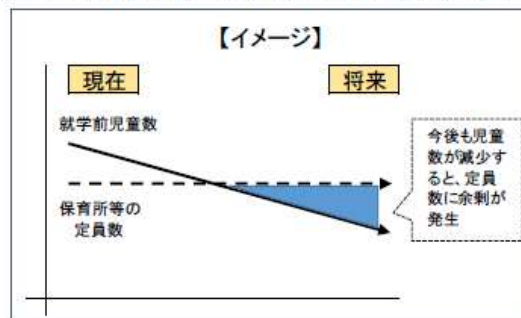
○現状

- ・民間保育園等の協力により、待機児童は解消されてきました【2015(H27)年度以降ゼロ】。
- ・ここ数年は出生数が減少しています。これにより0～5歳の小学校入学前児童数も減少しています。また、今後も児童数の減少が見込まれます。
- ・市内公立保育所では、築40年を経過している施設もあり、設備などの老朽化が進んでいます。



○課題

- ①今後も0～5歳の小学校就学前児童数が減少することで、定員数に大幅な余剰が生じることが予測されます。市全体で適切な定員設定とする必要があります。
- ②厳しい財政状況の中、公立保育所の老朽化に対応していくため、施設の統廃合等を検討していく必要があります。
- ③多様化していく保育ニーズに対応するため、公立保育所と民間保育園等との役割を明確化し、保育の質の確保に向けて連携した取り組みを行う必要があります。
- ④近年、特別な配慮を必要とするケースが増加しています。公的機関との連携を強化し、専門的な対応が必要となる保育ニーズ等に柔軟に対応していく必要があります。



■今後の方向性

今後も安心な保育を提供していくためには、公立保育所の役割を明らかにした上で、公立保育所の統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。



アンケート調査にご協力いただきますようお願いします



アンケート調査票 公立保育所のあり方に関するアンケート調査

1. 回答者の属性について

問1 あなたの居住地

※選択してください（1 高麗地区、2 高麗川地区、3 高萩地区、4 高根地区、5 高萩北地区、6 武蔵台地区）

問2 通園している施設名およびクラス名（※対象の子ども1名のみ入力してください）

施設名（直接入力） クラス ※選択してください（0～5 歳児クラス）

チラシに記載された番号（直接入力） （半角数字）

問3 お子様の年齢（R4.4.1 現在）

1 人目 歳（半角数字） 2 人目 歳（半角数字） 3 人目 歳（半角数字）

4 人目 歳（半角数字） 5 人目 歳（半角数字） 6 人目 歳（半角数字）

問4 保育所への通園方法

①通常時 ※選択してください（1 徒歩 2 自転車 3 自動車 4 その他）

②雨天時 ※選択してください（1 徒歩 2 自転車 3 自動車 4 その他）

問5 通常時の通園時間と通園距離

通園時間 片道 約 分（半角数字） 園までの距離 片道 約 m（半角数字）

問6 保育所を選ぶときに重視した点について（あてはまるもの3つまでを選択）

- 1 自宅から近いから ○2 保護者の職場に近いから ○3 通勤に便利な場所にあるから
○4 祖父母の家に近いから ○5 入学する小学校区にあるから ○6 保育所周辺の環境がよいから
○7 兄弟姉妹が通っている（た）から ○8 祖父母や保護者が通っていたから
○9 近所の子や友達に通っているから ○10 低年齢から入園できたから ○11 開園時間が長いから
○12 周りの評判がよいから ○13 保育の方針がよいから ○14 保育の内容がよいから
○15 信頼できる職員がいそうだから ○16 施設や設備が充実しているから
○17 園全体の雰囲気がよいから ○18 支援児への対応があるから ○19 公立保育所だから
○20 私立保育園だから ○21 その他

2. 今後の公立保育所の定員及び施設数について

※チラシ裏面の資料をご覧になりながら、ご回答ください。

問7 今後も引き続き安心な保育を提供していくためには、公立保育所の役割を明らかにした上で公立保育所の統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。

このことについてどのように考えますか。（最もあてはまるもの1つを選択）

- 1 そうすることが必要である ○2 どちらかというそうすることが必要である
○3 どちらかというそうする必要はない ○4 そうする必要はない
○5 どちらともいえない、わからない

問8 市の保育施設の定員数を調整する方法として、公立保育所の統廃合等が考えられますが、メリットや期待すること、デメリットや不安なことについてどのように思われますか。

①メリットや期待すること（あてはまるものすべてを選択）

- 1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気が出てくる
○2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる
○3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる
○4 なし ○5 その他

②デメリットや不安なこと（あてはまるものすべてを選択）

- 1 地域の保育の質が確保されるか不安である ○2 通園する保育所が遠くなる可能性がある
○3 通いながれた園に通い続けられるか不安である ○4 在園途中に環境が変化することが不安である
○5 なし ○6 その他

3. 今後の公立保育所の役割について

公立保育所は、行政機関の一部として、安定的な保育を行うとともに、配慮が必要な家庭や児童に対する保育サービスを提供してきました。

一方、民間保育施設では、それぞれの法人の保育理念に基づき、多様で特色のある独自の保育が実践されてきました。

民間保育施設を含めた今後の市全体の保育環境を見据え、公立、民間での役割を考えるために、公立保育所としてどのような役割が望ましいか、お伺いします。

問9 今後、公立保育所が果たしていく役割として、特に重要だと思うことは何ですか（あてはまるもの3つまでを選択）

- 1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割
○2 在宅で子育てする保護者への相談、助言を行う役割
○3 公開保育講座や育児講座の開催など、地域の保育所としての役割
○4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割
○5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割
○6 潜在保育士の復帰を促進させる役割
○7 保育実習生を積極的に受け入れる役割
○8 長年の経験を生かした保育の継承とスキルアップを促進する役割
○9 公立保育所と民間保育園との勉強会等を主導する役割
○10 小学校と連携する役割
○11 公的機関と連携する役割
○12 障がい児の受入れ体制を拡充していく役割
○13 医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
○14 養育困難家庭等の支援が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
○15 アレルギー対応が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
○16 その他

問10 このほか、公立保育所の役割として、求めることや期待することがあれば自由に記載してください。

■自由記述（任意）

アンケート調査票 公立保育所のあり方に関するアンケート調査（担任保育士）

1. 回答者の属性について

問1 あなたの性別と年齢

①性別 ※選択してください（1 男性 2 女性）

②年齢 歳（半角数字）

問2 勤務している施設名及び担任クラス

施設名（直接入力） クラス ※選択してください（0～5 歳児クラス）

問3 現在の法人での勤続年数及びこれまでの通算の勤続年数（R4. 4. 1 現在）

①現在の法人での勤続年数

②これまでの保育士としての通算勤続年数

問4 居住地、通勤手段、通勤時間について（R4. 4. 1 現在）

①居住地 ※選択してください（1 市内 2 市外）

②通勤手段 ※選択してください（1 徒歩 2 自転車 3 自動車 4 その他）

③通勤時間（片道） ※選択してください（1 30 分以内 2 30 分～1 時間 3 1 時間以上）

問5 保育士として働いていく上で、研修等を通じてどのような知識や技術を習得したいと考えますか。（あてはまるものすべてを選択）

○1 乳幼児保育・保育実技 ○2 障がい児保育 ○3 食育に関すること ○4 心と体の発達

○5 病気予防・救急救命 ○6 地域との関わり方 ○7 安全管理・衛生管理

○8 保護者への対応の仕方 ○9 パソコン等の操作方法 ○10 その他

2. 今後の公立保育所の定員及び施設数について

※チラシ裏面の資料をご覧になりながら、ご回答ください。

問6 今後も引き続き安心な保育を提供していくためには、公立保育所の役割を明らかにした上で公立保育所の統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。

このことについてどのように考えますか。（最もあてはまるもの1つを選択）

○1 そうすることが必要である ○2 どちらかというそうすることが必要である

○3 どちらかというそうする必要はない ○4 そうする必要はない

○5 どちらともいえない、わからない

問7 市の保育施設の定員数を調整する方法として、公立保育所の統廃合等が考えられますが、メリットや期待すること、デメリットや不安なことについてどのように考えますか。

①メリットや期待すること（あてはまるものすべてを選択）

- 1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気が出てくる
○2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる
○3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる
○4 なし ○5 その他

②デメリットや不安なこと（あてはまるものすべてを選択）

- 1 地域の保育の質が確保されるか不安である ○2 通園する保育所が遠くなる可能性がある
○3 通いながれた園に通い続けられるか不安である ○4 在園途中に環境が変化することが不安である
○5 なし ○6 その他

3. 今後の公立保育所の役割について

公立保育所は、行政機関の一部として、安定的な保育を行うとともに、配慮が必要な家庭や児童に対する保育サービスを提供してきました。

一方、民間保育施設では、それぞれの法人の保育理念に基づき、多様で特色のある独自の保育が実践されてきました。

民間保育施設を含めた今後の市全体の保育環境を見据え、公立、民間での役割を考えるために、公立保育所としてどのような役割が望ましいか、お伺いします。

問8 今後、公立保育所が果たしていく役割として、特に重要だと思うことは何ですか（あてはまるもの3つまでを選択）

- 1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割
○2 在宅で子育てする保護者への相談、助言を行う役割
○3 公開保育講座や育児講座の開催など、地域の保育所としての役割
○4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割
○5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割
○6 潜在保育士の復帰を促進させる役割
○7 保育実習生を積極的に受け入れる役割
○8 長年の経験を生かした保育の継承とスキルアップを促進する役割
○9 公立保育所と民間保育園との勉強会等を主導する役割
○10 小学校と連携する役割
○11 公的機関と連携する役割
○12 障がい児の受入れ体制を拡充していく役割
○13 医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
○14 養育困難家庭等の支援が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
○15 アレルギー対応が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
○16 その他

問9 このほか、公立保育所の役割として、求めることや期待することがあれば自由に記載してください。

■自由記述（任意）

アンケート調査票 公立保育所のあり方に関するアンケート調査（未就園児保護者）

1. 回答者の属性について

問1 あなたの居住地

※選択してください（1 高麗地区、2 高麗川地区、3 高萩地区、4 高根地区、5 高萩北地区、6 武蔵台地区）

問2 お子様の年齢（R4. 4. 1 現在） ※お子様全員についてご記入ください

1 人目 歳（半角数字） 2 人目 歳（半角数字） 3 人目 歳（半角数字）
4 人目 歳（半角数字） 5 人目 歳（半角数字） 6 人目 歳（半角数字）

問3 未就園児のお子様について、どちらの幼稚園・保育所等への通園を希望していますか

施設名（直接入力）

問4 保育所等を選ぶときに重視する点について（あてはまるもの3つまでを選択）

- 1 自宅から近いから ○2 保護者の職場に近いから ○3 通勤に便利な場所にあるから
○4 祖父母の家に近いから ○5 入学する小学校区にあるから ○6 周辺環境がよいから
○7 兄弟姉妹が通っている（た）から ○8 祖父母や保護者が通っていたから
○9 近所の子や友達に通っているから ○10 低年齢から入園できるから ○11 開園時間が長いから
○12 周りの評判がよいから ○13 保育・教育の方針がよいから ○14 保育・教育の内容がよいから
○15 信頼できる職員がいそうだから ○16 施設や設備が充実しているから
○17 園全体の雰囲気がよいから ○18 支援児への対応があるから ○19 公立保育所だから
○20 私立保育園だから ○21 幼稚園だから ○22 その他

2. 今後の公立保育所の定員及び施設数について

※チラシ裏面の資料をご覧になりながら、ご回答ください。

問5 今後も引き続き安心な保育を提供していくためには、公立保育所の役割を明らかにした上で公立保育所の統廃合などを含めた定員調整について検討を行うことが必要と考えています。

このことについてどのように考えますか。（最もあてはまるもの1つを選択）

- 1 そうすることが必要である ○2 どちらかというそうすることが必要である
○3 どちらかというそうする必要はない ○4 そうする必要はない
○5 どちらともいえない、わからない

問6 市の保育施設の定員数を調整する方法として、公立保育所の統廃合等が考えられますが、メリットや期待すること、デメリットや不安なことについてどのように思われますか。

①メリットや期待すること（あてはまるものすべてを選択）

- 1 定員に見合った子どもの数が維持されることで、保育所に活気が出てくる
- 2 保育所の施設整備が進み、地震、大雨等の災害時も安心できる
- 3 統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる
- 4 なし ○5 その他

②デメリットや不安なこと（あてはまるものすべてを選択）

- 1 地域の保育の質が確保されるか不安である ○2 通園する保育所が遠くなる可能性がある
- 3 通いながれた園に通い続けられるか不安である ○4 在園途中に環境が変化することが不安である
- 5 なし ○6 その他

3. 今後の公立保育所の役割について

公立保育所は、行政機関の一部として、安定的な保育を行うとともに、配慮が必要な家庭や児童に対する保育サービスを提供してきました。

一方、民間保育施設では、それぞれの法人の保育理念に基づき、多様で特色のある独自の保育が実践されてきました。

民間保育施設を含めた今後の市全体の保育環境を見据え、公立、民間での役割を考えるために、公立保育所としてどのような役割が望ましいか、お伺いします。

問7 今後、公立保育所が果たしていく役割として、特に重要だと思うことは何ですか（あてはまるもの3つまでを選択）

- 1 保護者の子育てに関する悩みや負担感を軽減できるよう助言を行う役割
- 2 在宅で子育てする保護者への相談、助言を行う役割
- 3 公開保育講座や育児講座の開催など、地域の保育所としての役割
- 4 災害時の地域の子ども、保護者の受入れを行う役割
- 5 緊急時等、一時的に子どもを預けられる場所を提供する役割
- 6 潜在保育士の復帰を促進させる役割
- 7 保育実習生を積極的に受け入れる役割
- 8 長年の経験を生かした保育の継承とスキルアップを促進する役割
- 9 公立保育所と民間保育園との勉強会等を主導する役割
- 10 小学校と連携する役割
- 11 公的機関と連携する役割
- 12 障がい児の受入れ体制を拡充していく役割
- 13 医療的ケアが必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
- 14 養育困難家庭等の支援が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
- 15 アレルギー対応が必要な児童の受入れ体制を拡充していく役割
- 16 その他

問8 このほか、公立保育所の役割として、求めることや期待することがあれば自由に記載してください。

■自由記述（任意）

【参考】公立保育所の役割として求めることや期待すること（フリーアンサー集）

1 保護者の意見

① 公立保育所保護者の意見

公立保育所に求める役割について
- 公立保育所の方が絶対的安心感があります。そして公立保育所の保育士の方が民間に比べミスも少なく保護者との報連相がしっかりしているイメージです。保育学生が出来るだけ公立に実習に行きなさいと言われるように、信頼と実績があり、公務員である責任感を持って働く公立の保育者は、民間に比べてとても頼りになります。両方に通わせたことがあるからこそ思うことかもしれませんが。どの市も公設民営の施設が増えていますが、公立保育所の役割として、気になる子や障がい児を受け入れてくれるのもとても大きいと思います。これは、他の子どもにとっても良い影響があると思います。 - 何らかの障害やフォローが必要であったり、医療ケアを必要とする乳幼児が市内に全くいないとは限りません。その視点から現在も対応されているかは存じますが、公立でも常時受入対応可能なスタッフの配置を推進していただきたいです。（緊急・災害時含む） 統廃合を進めていくにあたっては、立地場所に関して保護者や地域住民への相互性のある説明会を行っていただき、市政が一方通行でない計画を希望します。 - 私立保育園に比べ子供1人1人に寄り添った保育が出来るのが公立保育所の強みだと思う。保育ニーズの多様化が増え行政やその他連絡機関などとも連携が取りやすいのではないかと。（医療的ケア児や発達障がい児などの受け入れに必要な周りとの連携など）インクルーシブ教育に1番近いのではないかと。 - 早朝保育の延長（7時から）公開保育、行事等への参加人数の柔軟化 - 自然豊かで子どもたちにとってとても良い環境だと思います。子どもの減少は深刻な問題だと思いますが統廃合などでなくなってしまうのは悲しいのが正直な気持ちです。
保育の質・保育環境について
- 公立保育所の方が手厚い保育をしていると感じる。公立保育所が少なくなることで質のいい保育園が少なくなるのではないかと不安がある。 一部の私立保育所では人手が少ないため、十分なケアが出来ていない。 他の保育園に所属していてもケアが必要な子やなんらかの理由で保育園に行けなくなったこども達を自由に受け入れる場所があってもいいと思う。 - 保育環境には大変満足しております。先生方の職場環境が、より充実したものになれば、モチベーションも上がり、更に質のよい保育所となると思います。 高根保育所しか知りませんが、とても安心してお任せできる上、先生方もとても親切で、保護者の環境にも配慮や心配りをしてくださる、大変素晴らしい保育所でした。 - 週末の布団持ち帰り・週明けの布団の持ち込み、使用済みオムツの持ち帰りの廃止を検討願います。 - 先生方もとても親切で園の雰囲気も大好きです。何より保護者がお休みの時も気持ちよく預かって頂いて感謝しております。お願いとしては、お昼寝をなくして欲しいです。もしくは、希望制等その子供にあわせて柔軟な対応をして欲しいです。年長の12月までお昼寝はさせ過ぎだと感じております。 - 給食は現在のように、施設内の調理室にて作っていただきたい。（給食センターではなく、間近で提供していただくと子供たちの調理スタッフへの感謝・交流、食育に繋がるのではないかと） - 保護者と保育士が楽しめるよう園の必要物品を見直す。レジ袋など今は有料で一枚一枚名前を書くのも負担、ビニールバックなら再利用できるし楽。 連絡帳未記入も最近増えてきており、忙しいと思う反面保護者だけがきっちり書くことが不満に思う。 - 保育園に預けるのが悪いような、親が育てるのが原則という気持ちを持ってる親もいると思う。 全てを抱え込んで病的になるよりか保育園の力も借りて親も仕事の間に休み休み子育てすることが大事だと保育園から学んだ。リフレッシュも大事だと先生方から学んだ。もっと悩んでいる方にも保育園に助けてもらい子育てできるよう広まったら良いと思う - 親が神経質になりつつある世の中ですが、子供1人1人にあった自由な空間を求めていてもらいたい。子供にたいしてのダメダメ保育を減らしていくことなどで保育園でもただ預けるだけでなく子供の感性より育てていくことや保育園の先生たちにそれが出来る余裕を持たせていってあげる支援、改革をしていてもらえたらいいと思います。 0.1.2歳児の無償化。病児保育室を作ってほしい。急な一時保育の対応（面談を1回したらいつでも受け入れてほしい。慣らしなしで）。休んだ時の保育料、食費の返金。保育園の布団を園側で用意してほしい。オムツを保育園側で用意してほしい。持っていく荷物をなるべく少なくすむようにしてほしい。保育士を増やしてほしい

・ 保育士さんの給料を上げて下さい。 ・ 働きながら、子供に習い事をさせるのは難しく、保育所で講師を招き学習させる事ができたり、スイミングなどと連携しバスの送迎ができると保護者の負担が軽減され助かる。 ・ そもそも公立保育所の役割として、公立・民間を分ける必要があるのでしょうか 民間に比べて非常に教育に関しての意識の低さ・ただ子供を預かって楽しく遊ばせておけばいいという印象があります。 日高市の教育レベルを上げるためにも保育所からの教育に関する意識を高める必要を感じます。何年も前から保育所でやっていることが変わっておらず、民間保育所、他県の保育所へ研修へ行く必要を感じます
保育の量や提供体制について
・ 障害児や医療ケア児の受け入れ体制を万全にしてほしいと思う。 ・ 土日祝日にも仕事で保育が必要な家庭があると思います。そういった方が民間のサービスではなく、子どもが行き慣れている保育園に預けられる体制が整うと、子どもにとっても親にとっても、安心で良いと思います。統廃合することで土日祝日の保育を必要とする家庭を集中させることもできると思うので、様々な労働条件に合った方たちが平等に保育をしてもらえることを期待します。以前、土曜勤務の際、13時までしか預けられないことに驚きを感じたとともに、とても苦勞した経験があります。また、保育時間についてもニーズに合った調整をしてもらいたいです。 ・ 保育の均質さや、市役所との連携のスムーズさ、責任の所在（日高市長）がはっきりしているところが、公立保育施設の魅力だと思います。 けれども、民間施設のような華やかさはほとんどなく、若い先生も少なく、各クラス定員に満たない現状。とても寂しく感じます。 子どもの数が減少している、財政状況がひっ迫している、施設が老朽化しているという理由で色々考えるよりも、まずは公立保育所の質（施設、保育士等）を改善してもらえればと思います。 お忙しいのは承知ですが、民間保育所と公立保育所の先生がお互いに施設見学をして、いい点悪い点を言い合うとか。市外の人気の公立保育所に見学に行くとか。 また、公立保育所に入所している＝（イコール）公的機関との連携が必要な家族というイメージが浸透してしまうのも心苦しいです。 ・ 土日祝日等の対応やもう少し遅い時間帯まで預けることができるならありがたいと思う。 ・ 今時土曜保育が半日しかないことについて、近隣の市の保育士から驚かれます。土日勤務の職種も多い時代になっており、公立であっても土曜日は1日保育にしていけるべき。 0歳児を受け入れる保育施設が少なく、非常に困惑しました。育児休暇は大半が1歳の誕生日に復職します。0歳児を受け入れるようにして欲しい。
その他（市へのご意見）
・ 「統廃合等によって市の財源が確保されることで、他の子育て経費に充当することができる」というのも、そもそも子育て経費を増やしたら良いのでは？と思います。公立保育所の一定の支持層はあるんじゃないかなと思います。 ・ 将来的に出生率が減少する見込みがあるので保育所を統廃合するのは最もな話だと思うが、同じ規模の将来の話をするならまずはどうしたら出生数が伸びるかということを市政は考えたほうが良いのではないかと感じる。 保育所をなくすか否かということより、自治体としてどうしたらもっと活気がでるのかということ、市政には期待したい。 ・ 自然豊かで子どもたちにとってとても良い環境だと思います。子どもの減少は深刻な問題だと思いますが統廃合などでなくなってしまうのは悲しいのが正直な気持ちです。 ・ 他の県で検討されているように、2歳までの保育料の減額、無料化を検討して欲しい。

② 民間保育園等保護者の意見

公立保育所に求める役割（ご意見）について		
・ 日高市は遊具のある公園が少ないので、親同伴で園庭を開放してくれるととても嬉しいです。 ・ 利益を考えずに子どもたちや保護者が必要としている保育、支援をできる場であってほしいです。 ・ 環境、設備など改善。高萩地区に、公立の保育園がないので、ほしい。障害児への対応の充実。 ・ 子育て仕事の両立や在宅で育児に悩む親たちのちょっとした事も話せる場所であって欲しいです。コロナもありご近所や周りの方々とのコミュニティが狭まり、一人で全てを抱えている母親、父親も多いと思います。親が息抜き出来れば子ども達に対して心からの愛情を注ぐ事が出来ると思います。 ・ 保育所を統合して保育士の人数を増やし、保育士が余裕を持って保育をすることで、もっと子どもたちに愛情をもって接することができる。保育所の保育士はベテランの先生が多く、新しい先生があまりいない印象なので、若い力を取り入れて常に変化していくことも大事ではないか。 ・ 公立保育所は見学に行った事がないので、私立保育園との違いがはっきりとわからないです。子育て応援課で頂いた、保育施設紹介にも同じような事が書いてあるし、上記に記載のある『公立保育所は、行政機関の一部として、安定的な保育を行うとともに、配慮が必要な家庭や児童に対する保育サービスを提供してきました。』と言うのを初めて知りました。配慮が必要な家庭や児童に対する保育サービスとは、具体的にどのような事なのでしょう？例えばですが、障がいをお持ちのお子さん（発達障がいなども含めて）は療育などに通われたりするようですが、そう言ったハンデをお持ちの親御さんが安心して働ける環境をサポートするとか、働く親や両親などのサポートが得られない方や、一時保育を利用できる保育所（保育園）の拡充、病児保育など、働きながら子育てする親や育児に行き詰まってしまった方へのサポートが市全体でできたら良いと思います。 ・ 土曜や日曜、祝日も仕事があるので休まるざる負えない状況なので、保育をしてもらえる環境があると助かります。 ・ 公立保育園に1人看護師配置。 病児保育、不定型発達児保育など、保育士の学ぶ知識では個人の差が大きく出る。専門知識のある看護師を各1人配置すると良いと思う。 ・ 公立保育園に求めていることはない 考え方や優遇が聞かないので今の時代にあっていないと思う ・ 公立保育所の役割が今時点であまり理解できていないので、そこもしっかりとした資料がほしい。 保育所に預ける人は仕事をしてる人やその他事情がある人だと思うので統廃合という事が預ける人達にメリットとなるとはあまり思わないです。 ・ まず、ここに(2)を作るのであればなぜひとつ前の質問で3つまでしか選べないのか謎すぎる。求める事、期待する事があるのであれば全て選択しても良いのではないかな？何個も選択される事が嫌なの？めんどうなの？手抜きしたいの？わざわざアンケートまで取っておいて？12から15までは必要だと思います。 ・ 土曜保育の預かり時間を拡大してほしい。 ・ 行政の支援が届きにくい家庭への支援を、積極的に行ってもらいたい。 保育園の数が減るといことは、送迎の手段が少ない（車がないなど）経済的に厳しい家庭への負担が増えるということなので、考慮してもらえるといいと思う。 障害や病気を抱えている子が安心して通える保育所などを作っていただき、支援の場があるということも、周知してもらいたい。 ・ 民間に出来ること以外をカバーする公立ならではの保育機能 ・ 時代の流れに合った保育士等、職員の教育 ・ 保育時間が短かったり、土曜保育の預かり時間が非常に短く、夫婦で土曜出勤がある以上、どうしても公立は選べない状態。土曜保育の預かり時間の幅をもっと広げて欲しい。短すぎる。 ・ 自分の子が養育困難な子どもだったら、きっと助けてくれる場所が欲しいです。 人手が必要だから、経費もかかる保育になると思し、民間は利益を無視できないだろうから、そう言った面で行政にやってもらえたらと思います。 <tr> <th>保育の質・保育環境について</th></tr> <tr> <td> ・ 子育てに関して、もっと多様な考えがあることを保育園側から提示してほしい。こうでなければいけないということではなく、子育ての考え方はたくさんあっていいものだし、どれを選択しても間違いではないんだということを示してほしい。何かあるたびに先生から言われる言葉で、自信をなくしてしまいます。 ・ 働いていない家庭にも幼稚園前の保育の環境を提供してほしい。核家族が進む中、人手が足りず育児でとても苦しんでいる親がいると思う。金銭的な面以外にも、子育てに余裕がないので子供を産みたくてもこれ以上子供を増やす精神的な余裕がないと思っている親は沢山いると思います。 </td></tr>	保育の質・保育環境について	・ 子育てに関して、もっと多様な考えがあることを保育園側から提示してほしい。こうでなければいけないということではなく、子育ての考え方はたくさんあっていいものだし、どれを選択しても間違いではないんだということを示してほしい。何かあるたびに先生から言われる言葉で、自信をなくしてしまいます。 ・ 働いていない家庭にも幼稚園前の保育の環境を提供してほしい。核家族が進む中、人手が足りず育児でとても苦しんでいる親がいると思う。金銭的な面以外にも、子育てに余裕がないので子供を産みたくてもこれ以上子供を増やす精神的な余裕がないと思っている親は沢山いると思います。
保育の質・保育環境について		
・ 子育てに関して、もっと多様な考えがあることを保育園側から提示してほしい。こうでなければいけないということではなく、子育ての考え方はたくさんあっていいものだし、どれを選択しても間違いではないんだということを示してほしい。何かあるたびに先生から言われる言葉で、自信をなくしてしまいます。 ・ 働いていない家庭にも幼稚園前の保育の環境を提供してほしい。核家族が進む中、人手が足りず育児でとても苦しんでいる親がいると思う。金銭的な面以外にも、子育てに余裕がないので子供を産みたくてもこれ以上子供を増やす精神的な余裕がないと思っている親は沢山いると思います。		

・やらせなければいけないとそのことにとらわれて、園児への配慮が見られなく悩んでいるお母さんとかもいるので、もっと親との親交を深められるように園の中での生活が外からも、見られるように市で助成して欲しいと思いました。
・公立の職員は古い考えが根強く虐待に近い指導が多く聞かれるので、指導教育だけでなく、伸ばすを意識して導いてほしい。子供の心の傷は一生消えません。
・職員の賃金アップ。 保育士が安心して生活できる給料を保証すべき。イベントごとに、素敵な飾りや衣装を作ってくれる保育士さんは、サービス残業や持ち帰り仕事をしている人も多くいらっしゃると思います。
・日高市に住んで、都内で働く親には住みにくい市であると実感した。駅近くに保育園がなく、送迎のための車、駅の近くに駐車場、ファミサポのサポートが必要。 駅の近くの保育園、他市のように保育園から駅の送迎施設を作ってほしい。飯能市と提携して枠を作ってくれるとか。 待機児童0は見せかけの数値である認識を持ってほしい。遠くの保育園で空きがあっても送迎に時間がかかり過ぎて通えないから申し込まないで諦めたママがたくさんいる。保育園統合ではなく、保育室のようなものを点在させる、幼稚園を子供園にする、送迎システム作るなど、働く保護者に優しい市になってほしい。
・公立に限らずですが、子どもたちが安心して通えるよう、個々の成長や特徴を大切に家庭との連携をとって思いやりのある保育をしていてほしいです。 ニュースや自分の子どもを預けての感想になってしまっていますが、どうしても保育士の気持ち主体の保育がなされてしまう場面があり、とても悲しくなります。 今預けているこども園は、子どもたち一人ひとりに寄り添ってくれ、先生方が（乳児クラスしかわかりませんが）とてもあたたかいです。 保育士が気持ちに余裕を持って、暖かい保育をするためには、保育士の人数に余裕を持たせることも大切だと思います。ギリギリの（または少ない）人数では、一日をなんとか無事に過ごす事だけに必死になり、子どもたちと密に接してあげる事が難しいと思うので… 働く側にとっても、預ける側にとっても、通う子どもたちの為にも、地域全体が優しく暖かく穏やかになってほしいと願っています。
・公立と私立の違いがいまいちわからないが、子供を預かる場所として安全に保育して欲しい。事故などの原因が人員不足だけは理由にしてほしくない。
・統廃合ありきでなく、まずは十分な保育に必要な保育士を確保すべきです。国が定めた保育士の数は少な過ぎます。日々流れる園児の死亡ニュースや保育士の大量離職などが物語ってると思います。園児は定員割れするくらいでちょうど良いです。今定めてる定員の1/2あるいは1/3くらいで良いかもしれません。保育環境の向上を謳うのなら国基準など無視した市独自の最適な保育士対園児の割合をまずは定めて、話はそこからだと思います。統廃合は必要ないと回答したのはそういう考えからです。
・病気を持った子供の個別での教育できる環境やカウンセリングを定期的にしてもらえる場所が欲しいです。小学校に上がる際に普通の子と変わりなく同じ学校に通えるように、リハビリ出来る所があると親としてはありがたいなと思いました。
・市民、子供にとって、改悪でなく改善できれば良いですが… 何をもって良し悪しが決められるのか分からないので不安の方が大きいのかも。よく説明や理解できるような機会、場面を設けられると良いと思います。 さらに従業員なども含め利用する側の声をひろって改善できる環境だとなお良いです。
・一時保育やリフレッシュ預かりを積極的に行ってほしい。園の様子や子どもの預け先の決め手にもなる。
・コロナ禍で人との関わりが減っていく中で、保育園が唯一人間関係を学べる場所になりつつあります。喧嘩したり仲直りしたり叱られたり謝ったりを親以外からされるのはとても大事な事だと思っています。信頼できて、安心して預けるには園長や先生方の働く環境が整っているのが一番大事だと考えていて、しっかり頑張ってくださってる先生とそうでない先生を保護者は言わないだけで分かっています。そう言った所から改善していただきたい。 テレビでみるような事件が起きないようにするには子供達よりも子供達を見る大人の改善が必要かと思っています。 市役所が何かあった時に私立だろうが公立だろうが、ちゃんと対応して処罰できる仕組みを作りたい

・ 私立の保育所のためよくわからない部分もありますが、上の子の時公立の保育園を見学に行った際、その時の園長が威圧的で先生達も園長の前ではビクビクしていました。 公立は園長が変わると聞いたので 今後公立の件で検討する際、大事な保育士さんもストレスなくいい雰囲気の職場になるよう上に立つ人の厳選もしっかりして欲しいです。
・ 食育や性教育の取り組み。 制服を廃止し、服を汚すことに抵抗を感じさせない取り組み。 環境変化に対応できるよう、外遊びを主体とし、外遊びの楽しさを味わうことで、小学校入学後にゲームやスマホ依存にさせない取り組み。 幼少期から、障害や医療的ケアが必要な人が同じ環境で同じように過ごすことで、助け合いながら生きていくことを自然に会得する環境を作ってもらいたい。
保育の量や提供体制について
・ 共働き世代が増えている中で土日に仕事をしている家庭も多く、土日祝日の休みに預けられないのがとても残念。しかし、保育士さんに休んでもらいたい気持ちもあり、土日祝日に預けられる場所があればと思う。 また、病児保育が出来る所が少なく、熱が出た時など遠くまで連れていかなければならない。 ・ 土日が休みではない。遅くまで仕事がある親御さんもいるのに、休日保育、時間外保育が手薄。子供が発熱しても休めない時もある職業柄、時間が不定期&一度決まると休めない環境だったので、以上2点が気になっていました。すごく難しいとは思いますが、横浜市のように24時間型一時保育を市としても扱ってもらえると、とても嬉しいです。病院の休日夜間当番医みたいにできたらいいのにと、長年思っていました。施設の数減らして、その分、柔軟に対応できる施設？環境？が一つでもあったら嬉しいです。
・ 土曜日でも平日と同じ時間保育して欲しい。
・ 日高市は土曜日勤務している人からすると働きずらくなる。13時までだったり、やっていなかったり。フルタイムで働いていたのに、日高市の保育園に来てから時間調整が必要になり困っている
・ 仕事が休みの日の保育条件の緩和、もしくは条件提示。 昨今、核家族、シングル家庭、頼る親族が身近にいない、親の介護しながら育児、等など。仕事が休みの日に、たまにはリフレッシュしたい、半年以上行ってない美容室行きたい、こども連れては困難・危険な私用を済ませたい、そう思う事もあります。預けてもいい事情だと判断しても、保育園側からは工夫して自分でみてと断られた事も何度かあり、予定をキャンセルした事もあります。 保育園に預けられて、仕事出来るのは本当に助かります。ですが親が仕事お休みの日も通常保育の範囲内で預かれる、等の緩和が欲しいです。頻繁に自分や家族（老人、ペット含む）の病院ありますが、それすら断られるのではと考えてしまいます。仕事以外の保育の幅が欲しいです。 または入園条件として、どういう理由が良くて、どういう理由がダメなのか、各園で提示があると入園判断にも役立ちます。
・ 保護者が会社を休んでも、保育園に預けられるようにして欲しい。出勤日は仕事に家事育児、休日は家事育児、全く心も体も休めません。疲労困憊で休みたいのに休んだら、子どもの世話を一日しなければならず、逆に疲労する。月に1日とか2ヶ月に1日とかならば、許してもらえないだろうか？それとも私立だからNGとか公立はOKとか違いはあるのでしょうか？今の保育園はそれが許されていません。確認をお願いしたいです。
・ 近年では日・祝や年末年始の仕事が休めない保護者も増えてきていると思う。先生方の負担のない範囲でシフト組みの調整をしていただき、土曜保育と同様に預かりを行っていただけると大変助かる。
・ 私立よりも料金が安いのが何よりも魅力ですが、ただでさえ負担の多い業務のようすし統合することによって人手不足などが解決できるのであれば良いと思います。 また延長保育などの時間がさらに遅くになればとてもありがたいです。
・ 小学校や中学校と連携して学童のような学校や保育園の長期の休み等に関係なく保護者が働いていても、年齢層幅広く子供を預けられるような施設

その他（市へのご意見）
・ 子供が減るのは仕方がないと思うのではなく、兵庫県明石市のような子供や人口を増やす対策も検討するべきである。
・ 日高市の保育施設を減らすのではなく、近隣の市町村の待機児童を受け入れるなど、自治体の連携を進める方が子供や家庭には嬉しいと思います。
・ 保育所は十分すぎるほど保護者や子供を支えてくれていると思います。保育所のあり方の前に、日高市がもっと子育て世代に寄り添った、子供を育てやすい環境作りの土台を作るべきだと感じています。育てづらいし、魅力はないし、転出数も増える一方です。保育所云々の前に市制をどうにかした方がいいと思います。
・ 2人目を預ける際の保育料が高い。少子化をどうにかしたいのであれば所得制限なく、上の子の年齢関係なく、保育料無償化・妊婦健診費用全額補助を実現して欲しい。 私は現在34歳で2人子供がおります。経済的な負担さえ軽くなれば3人目、4人目欲しいです。でも女性には子供を妊娠・出産できる期限があります。私もその期限が見えてきました。このままでは「産み控え」ではなく「産み諦め」を選択せざるを得ません。 税金、物価高騰する中で自分たちの老後の貯えを自分でやってね、子供産んでね、でも2人目の保育料はしっかりもらうからね、では増えるものも増えないと思います。
・ まず、ここに(2)を作るのであればなぜひとつ前の質問で3つまでしか選べないのか謎すぎる。求める事、期待する事があるのであれば全て選択しても良いのではないのか？何個も選択される事が嫌なの？めんどろなの？手抜きたいの？わざわざアンケートまで取っておいて？ 12から15までは必要と思います。
・ 公立保育所は高麗、高麗川、高根だけにあり、高萩北、高萩にはない。その辺の不平等さがあると思う。高萩、高萩北地区は小学校のことも考えると、公立保育所の選択は低く、私立保育所の選択になることが多く、私立保育所への意見を市に相談しても、私立だから言えない。で終了。働きかけもしてくれない。私立保育所は何かあれば保護者と保育所とで直接解決法を見出さなくてはならなく、匿名での提案はできない。 公立保育所に通ったこともなく、どのような保育が実施され、どのような違いがあるのかわからないが、公立、私立、地域ごとに配置する配慮がほしい。
・ 近年は両親共にフルタイムで働く必要があったり、育児で親の夢や人生が狭められることがなく働く環境が整いつつあります。その中で子供にとって重要なのが、親と同じ愛情を感じられる環境です。最近では人の交流が希薄になっているので親も育つ場として保育者の視点は大切だと感じています。保育所統合により通園が困難になる家庭が出ることは危惧しますが、行政の協力強化により問題解決された上で、一番は成長期の影響の大きい幼い子供たちにとって最善の策を講じていただくよう願います。 少子化は難問ですが日高市は子供の遊び場自体も少ないので待機がなく入所できるのは新しく居住者を募る上で大きなメリットです。施設を減らすより、居住者を増やすために一層魅力的な対策、アピールをして増やしていただくと市の運営にもプラスになるのではないのでしょうか？ 過疎化に合わせるより過疎化を阻止する案をお聞きできたら市民として嬉しく思います。

③ 公立保育所担任の意見

公立保育所に求める役割（ご意見）について
・ 私立がしていることと同じのこともしても意味がないと思う。私立は特色を出すために教育的なことを多く取り入れたり、独自のやり方をしていることがあるが、そういったことを求めている保護者ばかりだとは思いません。英語を取り入れたりするのも悪くはないと思うが、やはり安心安全を全面に押し出し、多くを求めず、とにかく保護者に「安心して我が子を預けられる場所」と思ってもらえるようにするのが一番だと思います。 ・ 少子化が進むなか、統廃合もやむ得ないかと思います。しかし、現場にいるものとして現実を見た場合20年前から比べると個性のある子どもが多くなり人数のわりに個別対応を必要としています。四角四面で見るのではなく行政だから出来る支援をお願いしたい。 ・ 今、障がいや特性が多様化しています。また保護者も多様化している中で、日々対応など悩むことは多いのですが、公立保育所では職員の年齢層が幅広く、それぞれの層の良さが発揮されると思います。正規職員も会計年度任用職員もさまざまな年齢層の中で意見を出し合い対応を考えていくことができると思います。ベテランの先生方の知恵や経験も宝物だと思います。 ・ 保護者は安全に子どもを預けられるのが一番良い。看護師、保健師の常駐を希望。（保健室のような）障がい児やアレルギー児、0歳児保育のことを考えると、いつでも（リアルタイムに）相談したりみてもらえるような環境にあると、保護者も保育士も安心して子どもを預かれると感じる。
保育の質・保育環境について
・ 公立保育所は、新しい保育指針に沿った保育を考えなければならない。何のために保育指針や10の姿を具体化して指針を出されたのか、それを積極的に取り入れなければ、現状を打破できない。古い保育のやり方から脱却できてこそ、これからの保育のスタート台に立つのだと思う ・ 公立保育所は、保育士のやり方により変わってしまうので、子どもたちへ経験を重ねていく通年の活動（運動遊びなど）を取り入れたりしたい。 また、近年、仕事をフルでしていない家庭のお子さんも多く、親のリフレッシュとなってしまう、子どもの親への愛着なども薄れて来てしまっているように感じる。親子としての関わりが必要以上に少なくなり、子どもとどう関わればいいのか分からない保護者もとても多くなってきている。 はい！預かります。とは簡単だが、本当に必要とする人が活用できる保育が望ましいとおもう。 また、保育所に入れば大丈夫というところも保護者にあり、保育士がそれに答えて行かねばならないのがプレッシャーにも感じる。子どもの為の保育をしたい。
保育の量や提供体制について
・ 保育士の確保をすることで、配慮の必要なお子さんへ、より目が届くようになったらいいと思います。

④ 民間保育園等担任の意見

公立保育所に求める役割（ご意見）について
・ 私立ではなかなかできないことをして頂きたいです！ ・ 支援センターや一時預かり保育など行うなど ・ 保育実習生の受け入れ
・ 市内保育園の交流、意見交換できる機会を作って頂き、先導して頂けたらと思います。各園、特色や考えはあると思いますが、緊急時や病気、今回のコロナ対応など、国の基準下の中でも園ごとに判断が様々だと感じています。意見交換して、各園ごとにあまり差がない対応ができれば地域の保護者の負担を減らしていけると思います。 ・ 自分の子も保育所にお世話になり、安心して預けていました。 統廃合により場所や環境が変わることがあると思いますが、保育の質を高め、安心して預けられる状況であってほしいと思います。 養育が必要な子どもが増えてきているので、そこにも手厚く受け入れてもらえたらいいと思います。 ・ 障害児が増えてきているので、民間の保育園では障害児への対応が十分に出来ていないと思います。その為、公立の保育園が体制を整えて受け入れてもらえると助かります。

・私立保育園では保育士の人数が不足していて、園にいる障がい児やグレーゾーンの子への対応にしっかり時間をとってあげることが難しいので、公立保育所でしっかりと関わり、その子に合った対応、保育をする役割を担っていただけたらと思います。
・公立保育所と民間保育施設での情報の交換の場や、勉強会が定期的に行われたら市内の保育者の質の向上に繋がるのではないかと考えます。
・私立は特色があり、園の方針が様々だと思う。その方針が合わない子も出てくるのではないかと心配もある。公立があれば選択肢も広がるし、市との連携がしやすい場だと思うのでそれを生かして欲しいと思う。
・近年子供の数は減少していると聞いていますが、発達障がいと診断される子の人数は増えているように思います。 どの子にも平等な保育をしていくことが理想ですが、保育する側の立場からの意見としまして、発達障がいの子も療育を受けて良い方に少しずつ成長が見られ、クラス運営で困ることが少しずつ減ったり、保護者の障害に対する理解や対応に変化があって家庭でも状況が少しずつ改善されたり…という事があるように感じています。しかし、療育の予約がなかなか取れないとの話も聞かれます。療育に携わることが出来る人材の育成や、空き教室を療育や障害児の子が保育園と併用して安心して通える場所として使っていただけるとありがたいと個人的に思います。
・土曜日も、一日保育をする。(延長保育を含む) ・全公立保育所が、0歳児クラスの運営をする。 ・問題のある家庭や、発達支援が必要な児童は、公立が担うべき。 ・時代に合ったサービスの提供。(オムツの持ち帰りや、主食持参などは止めるべき)
・0歳児の受け入れ。土曜保育の時間延長。
・0歳児受け入れや土曜保育の延長
・土曜日や祝日の保育
・0歳児の受け入れられる公立を増やすべきです。土曜日時間短いのは現実とかけ離れている。
・土曜保育を公立の保育所で合同などにして行って欲しい。
・公立で土曜保育を見てほしいです。
保育の質・保育環境について
・施設が古いならば、統合した学校をリフォームし利用するのはどうでしょうか。保育所、学童、小学校が近いのは、働くママたちのお迎えの負担が減り、兄弟も安心感を得られると思います。地域に密着した保育所は、近隣の方ともお散歩などで関わりますし、なくすのはもったいない気がします。保育施設の老朽化も問題かもしれませんが、それ以上に世の中から求められる保育をしようとする、現在のこどもと保育者の人員のわりあいでは、保育士の負担が大きく、疲弊してしまい、よい保育をしたくても出来ないと思います。こどもにも、家庭にも保育士にも優しい日高市であってほしいと思います。
・保育所の役割もそうですが、人手不足も原因です。給料が上がらない限り難しいとおもいます。命預かる仕事、子育てサポートする仕事です。見合った金額をお願いします。声を上げてもらうにも届かないのが悲しいです。私たちも同じ人間です。お願いします。
・統合するのではなく、質の高い寄り添う保育をするために、こども一人に対しての古い人数設定を改善し、温かい保育を実現できるようにしてほしい。現在世の中で求められている保育をする為には、保育士の人数が必要なのです。せっかく務めている保育士のことを大切にしてほしい。学校が統合しているならば、学校を保育室にリホームして使えば、市にとっても有効活用ではないでしょうか。保育現場は、こどもの人数が減ってきててもすごく大変です。なくさないで、こどもたちの為にも保育施設と保育士を大切にしてほしいです。
保育の量や提供体制について
・このご時世なので、保育士が足りない時、民間と公立とで、助け合い、手薄な所への派遣など、出来たら、コロナなどに感染し、クラスが運営出来ない状況を回避でき、保育園の都合で保護者の方に迷惑かける現実を防げたらいいのではないかと思います。
その他（市へのご意見）
・子育て支援として、親育ても必要。本当に支援が必要なのかを見極めてほしい。

⑤ 未就園児保護者の意見

公立保育所に求める役割（ご意見）について

- ・ 一時保育がほとんど機能していない状況をご存知ですか？私は年子を抱えて頼れる人は近くに誰もおらず、自身の体調不良から精神的にかなり追いつめられた時期がありました。一時保育を利用したくて電話をしても、面接まで数週間待ち、面接後の最初の利用は一ヶ月先の日付、時間指定と言われ、泣く泣く利用を断念しました。もっと一時保育を誰でも利用できるようにしてください。子供を抱え、虐待の一步手前でなんとか踏みとどまりながら泣いている母親もいます。そういう保護者のサポートこそ、公立保育所にしていきたいです。
- また、日高市は0歳児保育の定員が少なく、市内の地域によりバラつきがあると思います。民間はともかく、せめて公立保育所は0歳児預かりをしてください。そこから始めないと、0歳児の一時保育も難しいはずです。助けを求める親子の駆け込み寺、それも公立保育所の役割ではないでしょうか？

保育の質・保育環境について

- ・ 1人1人に手厚く、教育レベルの高い幼稚園があれば嬉しい。レベルの高い幼稚園や幼児教育の施設があったり、市全体で力を入れてくれたら日高市に子育て世帯がもっと移住してくると思う。
- ぬくぬくという施設に行ったら、スタッフが子供と沢山お話しをしてくれたり一緒に遊んでくれたりして感動した。都内にいた時より、子育てしやすいと感じている。